



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 小松精練株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3580 URL <http://www.komatsuseiren.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 哲夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 清水 義信 (TEL) 0761-55-8000  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,090	△6.2	683	76.8	869	26.9	622	25.2
28年3月期第2四半期	19,284	2.1	386	—	685	121.7	497	64.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 241百万円(△56.6%) 28年3月期第2四半期 556百万円(31.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
29年3月期第2四半期	円 銭 14.54	円 銭 —
28年3月期第2四半期	円 銭 11.62	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	43,974	32,392	73.3	752.54
28年3月期	44,308	32,408	72.7	752.10

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 32,215百万円 28年3月期 32,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年3月期	—	6.00			
29年3月期(予想)			—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	0.0	1,200	39.0	1,600	14.7	1,200	38.8	28.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	43,140,999株	28年3月期	43,140,999株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	332,759株	28年3月期	332,728株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	42,808,263株	28年3月期2Q	42,808,610株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は、この四半期決算短信の開示時点において、終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境など一部で緩やかな回復が見られるものの、円高による国内経済への影響や個人消費の足踏みなどから、景気回復を実感できない状況が続いております。海外では、英国のEU離脱問題などによる世界経済への悪影響が不安視されていることや、中国及び新興国を中心とした経済の減速など、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、18,090百万円（前年同期比6.2%減）となり、営業利益は683百万円（前年同期比76.8%増）、経常利益は869百万円（前年同期比26.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は622百万円（前年同期比25.2%増）となりました。

事業のセグメント別状況は以下の通りであります。

## [繊維事業]

衣料ファブリック部門は、当社の高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めました。海外向けファッション分野及びスポーツ分野は減収となるも、中東向け民族衣装は順調に拡大しました。一方、国内向けではファッション分野及びスポーツ分野が苦戦し、当部門は減収となりました。

資材ファブリック部門は、生活関連資材分野及び医療・福祉分野がほぼ計画通りに推移するも、リビング分野及び車輦分野が減少し、当部門は減収となりました。

製品部門は、不採算部門の見直しを継続しており、減収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は17,452百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

## [物流物販事業]

物流並びに物販分野は順調に増加し、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は637百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、「投資有価証券」が増加したものの、「長期預金」並びに「商品及び製品」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ334百万円減少し、43,974百万円となりました。

負債については、「支払手形及び買掛金」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ318百万円減少し、11,582百万円となりました。

純資産については、「利益剰余金」が増加したものの、「為替換算調整勘定」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、32,392百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などの計上により、1,824百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出などにより、2,422百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額などにより、291百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ954百万円減少し、4,124百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年5月10日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,179	4,124
受取手形及び売掛金	8,063	7,900
有価証券	1,400	2,000
商品及び製品	2,218	1,930
仕掛品	810	727
原材料及び貯蔵品	1,692	1,547
繰延税金資産	266	291
その他	146	157
貸倒引当金	△42	△30
流動資産合計	18,734	18,648
固定資産		
有形固定資産	9,272	8,818
無形固定資産	270	334
投資その他の資産		
長期預金	2,000	1,000
投資有価証券	12,570	13,747
繰延税金資産	540	512
その他	921	914
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	16,031	16,173
固定資産合計	25,574	25,326
資産合計	44,308	43,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,051	4,825
短期借入金	212	203
未払法人税等	281	299
賞与引当金	395	510
その他の引当金	13	23
その他	1,576	1,287
流動負債合計	7,529	7,149
固定負債		
役員退職慰労引当金	479	479
退職給付に係る負債	3,636	3,725
その他	254	227
固定負債合計	4,371	4,432
負債合計	11,900	11,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,662	4,662
利益剰余金	21,280	21,645
自己株式	△140	△140
株主資本合計	30,483	30,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,289	1,303
為替換算調整勘定	398	40
退職給付に係る調整累計額	25	22
その他の包括利益累計額合計	1,712	1,366
非支配株主持分	212	177
純資産合計	32,408	32,392
負債純資産合計	44,308	43,974

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	19,284	18,090
売上原価	15,713	14,317
売上総利益	3,570	3,772
販売費及び一般管理費	3,184	3,088
営業利益	386	683
営業外収益		
受取配当金	68	75
持分法による投資利益	130	114
為替差益	26	—
その他	90	85
営業外収益合計	315	275
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	—	77
通貨オプション評価損	3	6
その他	11	2
営業外費用合計	17	89
経常利益	685	869
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	6	50
特別利益合計	8	50
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	13	17
投資有価証券売却損	2	44
特別損失合計	17	62
税金等調整前四半期純利益	676	858
法人税、住民税及び事業税	221	239
法人税等調整額	△30	△4
法人税等合計	190	235
四半期純利益	486	623
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	497	622



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	486	623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	20
為替換算調整勘定	57	△393
退職給付に係る調整額	△2	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△6
その他の包括利益合計	70	△381
四半期包括利益	556	241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	560	276
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△34

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	676	858
減価償却費	519	666
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	85
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△13
その他の引当金の増減額(△は減少)	11	9
持分法による投資損益(△は益)	△130	△114
受取利息及び受取配当金	△95	△105
支払利息	2	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	△6
固定資産除売却損益(△は益)	12	17
売上債権の増減額(△は増加)	△222	△5
たな卸資産の増減額(△は増加)	626	419
仕入債務の増減額(△は減少)	35	△175
その他	199	357
小計	1,638	1,995
利息及び配当金の受取額	93	107
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△131	△275
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,597	1,824
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	1,500
有価証券の取得による支出	—	△2,000
有価証券の償還による収入	1,300	—
投資有価証券の取得による支出	△1,527	△1,700
投資有価証券の売却による収入	22	662
固定資産の取得による支出	△1,224	△877
固定資産の売却による収入	7	0
その他	△3	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,424	△2,422
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20	29
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△376	—
配当金の支払額	△324	△302
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	—	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△681	△291
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△64
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△501	△954
現金及び現金同等物の期首残高	6,684	5,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,182	4,124

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,672	611	19,284	—	19,284
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41	886	927	△927	—
計	18,713	1,498	20,211	△927	19,284
セグメント利益	320	59	380	6	386

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,452	637	18,090	—	18,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	879	906	△906	—
計	17,479	1,517	18,997	△906	18,090
セグメント利益	642	32	675	8	683

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。